委託事業実施内容報告書
平成27年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム（B）】
実施内容報告書

受託団体名　公益財団法人京都府国際センター

1. 事業名称

地域と連携・協働した日本語教育体制整備事業

2. 事業の目的

地域における日本語支援などの多文化共生に係る施策を推進するにあたり、府内市町村や市町村国際化協会だけでは十分に事業を展開できないケースが多い。そのため、当センターが中心となって日本語支援ボランティアの養成・研修や日本語教室の立ち上げ・運営に関する支援事業を各地域で展開し、京都府の日本語教育体制の整備につなげる。また、地域における日本語教育を持続可能なものとするため、事業実施にあたっては各市町村と協働し、行政の役割としての日本語教育について理解を深めてもらう。

3. 事業内容の概要

・府内日本語教室のネットワーク化（各教室同士の顔の見える関係づくりや学習指導・教室運営の方法など情報共有をすることで地域格差をなくすとともに各教室が抱える課題解決の場とする）
・府内市町村へのモデルとしての日本語教室の開催（カリキュラムや指導法を地域日本語教室に公開することで平準化を図る）
・府北中部および南部日本語教室と協働した人材育成講座の実施（各地域で日本語学習支援に関わる人材を育成することで外国人住民が学習機会を得られるようにする。特に教室内でボランティアに対して指導ができる中核メンバーを各地で養成する）
・日本語教育への理解促進（日本語教育の意義について一般住民に理解してもらうことで日本語学習支援の裾野を広げ、市町村行政からの協力を得やすくする）

4. 事業の実施体制について

事業内容については、中核メンバーと調整した上、運営委員会および日本語教室ネットワーク会議に諮ることで、各地域からの意見を反映させる。各地の意見の集約、新規ボランティアの養成、既存ボランティアの研修、日本語教育への理解促進については中核メンバーを中心に、京都にほんごRingsや日本語学校などの関係団体と連携・協力しながら実施。また、外国人住民のための日本語教室はモデル教室として実施し、学習教材とともに授業見学の機会を提供することで各地の教室を支援する。

5. 運営委員会の開催について

【運営委員】

1	諏訪喜栄子	綾部国際交流協会
2	花岡正義	京都にほんごRings
3	麻田友子	京丹後市国際交流協会
4	青木良子	南丹市国際交流協会
5	西岡正志	亀岡国際交流協会
6	近藤徳明	公益財団法人京都府国際センター

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成27年7月27日（月）15:30～16:30	1時間	京丹波町国際交流協会	諏訪喜栄子 花岡正義 麻田友子 青木良子 西岡正志 近藤徳明	1. 日本語初期指導担当者養成講座の実施について 2. 日本語支援ボランティア養成講座の開催地について 3. その他日本語学習支援事業の実施状況について
2	平成28年1月23日（土）12:00～13:00	1時間	丹波マーケス	諏訪喜栄子 花岡正義 青木良子 近藤徳明	1. 日本語初期指導担当者養成講座振り返り 2. 日本語支援ボランティア養成講座の実施状況について（視察含む） 3. その他日本語学習支援事業の実施状況について

3	平成28年3月9日 (水)12:00～ 13:00	1時間	京都府国際センター	諏訪喜栄子 花岡正義 麻田友子 青木良子 西岡正志 近藤徳明	1. 日本語支援ボランティア養成講座振り返り 2. 平成27年度日本語教育事業実施報告 3. 平成28年度日本語教育事の展開について

6. 取組についての報告

取組1:京都府日本語教室ネットワーク会議の実施

(1)体制整備に向けた取組の目標

京都府全域のネットワーク体制を整備することで、情報や課題の共有など各地域の教室が孤立することなく他地域の教室との連携を図ることができ、それにより府域全体での日本語教育が活性化される。

(2)取組内容

府内の日本語教育の体制整備について協議する場として日本語教室ネットワーク会議を実施。
日本語教室空白地の解消や日本語学習支援人材育成を中心に地域と連携・協働した日本語教育体制整備について協議を行う。

(3)対象者

府内市町村日本語教育担当、市町村国際化協会、地域日本語教室

(4)参加者の総数　　19 人(延べ人数ではなく, 受講した人数を記載すること。)

そのうちの日本語学習者数　　＿＿＿＿＿＿人

【出身・国籍別内訳】

中国	人	インドネシア	人	
韓国	人	タイ	人	・
ブラジル	人	ペルー	人	・
ベトナム	人	フィリピン	人	・
ネパール	人	日本	19人	

(5) 開催時間数(回数)　　5時間　　(全3回)

(6) 活動の具体的内容

回数	開催日時	時間数	場所	参加者数	取組のテーマ	概要	会議出席者	補助者名
1	平成27年7月27日 (月)13:30～15:30	2	京丹波町国際交流協会	14人	京都府北中部における日本語教育体制の整備	・京丹波町国際交流協会日本語教室活動紹介 ・平成27年度日本語初期指導担当者養成講座 ・京都府国際センター日本語学習支援事業	麻田友子 小嶋智沙 石田栄 諏訪喜栄子 小谷誠之 矢野温江 松井みゆき 小林義博 青木良子 梶原圭市 西岡正志 八木英敏 花岡正義 近藤徳明	
2	平成28年1月23日 (土)10:30～12:00	1.5	丹波マーケス	11人	京都府北中部における日本語教育体制の整備	・各教室の日本語学習支援の取り組み ・日本語初期指導担当者養成講座振り返り ・平成28年度京都府国際センター日本語学習支援事業について	山岡和之 諏訪喜栄子 松井みゆき 小林義博 青木良子 小林ゆかり 鶴山昌仁 井上敬一 八木英敏 花岡正義 近藤徳明	

3	平成28年3月9日 (水)10:30～12:00	1.5	京都府国際センタ	11人	京都府北中部における日本語教育体制の整備	・平成28年度各教室の日本語学習支援の取り組み ・平成27年度京都府国際センター日本語学習支援事業報告 ・京都府北中部日本語教育体制の整備について	麻田友子 青柳佳子 石田栄 諏訪喜栄子 松井みゆき 小林義博 青木良子 西岡正志 八木英敏 花岡正義 近藤徳明	

（7） 特徴的な活動風景（2～3回分）

活動例①

【第1回　平成27年7月27日】
・京丹波町国際交流協会日本語教室活動紹介
・平成27年度日本語初期指導担当者養成講座
・京都府国際センター日本語学習支援事業

活動例②

【第3回　平成28年3月7日】
・平成28年度各教室の日本語学習支援の取り組み
・平成27年度京都府国際センター日本語学習支援事業報告
・京都府北中部日本語教育体制の整備について

（8） 目標の達成状況・成果

府内の日本語教育体制整備のための研修や教室の課題解決のための意見交換などが積極的に行われている。新たな日本語教室立ち上げの協力依頼など、形式的でなく実質的な会議となっている。開催毎に市町村にも通知をすることで、関心を示す自治体も出てきている。今年度も日本語教室空白地からの参加があり、来年度に向けた空白地解消の協議ができた。

（9） 今後の改善点について

日本語教育体制の整備を推進するためには市町村行政の役割が欠かせないため、引き続き、市町村担当部署の日本語教育への理解を深め、当会議への参加を促す必要がある。日本語教育に係る施策は優先順位が高くないところが多いが、定期的に会議を設け、粘り強く市町村への投げかけを続けることが必要である。

取組2：外国人住民のための日本語教室

（1）体制整備に向けた取組の目標

在住外国人に対し生活に必要な日本語の学習機会を提供するとともに、モデル教室とすることで地域格差がある日本語学習支援について平準化を図り、学習者によりよい支援ができるような体制を整える。

（2）取組内容

日本で生活するために必要な日本語を学習するための教室を開催。府内各地域に対するモデル教室として実施。カリキュラムや教材は公開することを目的として作成。指導方法を学んでもらうため各地域からの教室見学を受け入れるなどして地域の日本語教室運営の参考としてもらう。

（3）対象者

府内在住外国人、地域日本語教室で活動する日本語支援ボランティア

（4）参加者の総数　　74 人（延べ人数ではなく，受講した人数を記載すること。）

そのうちの日本語学習者数　　74　　人

【出身・国籍別内訳】

中国	10人	インドネシア	人	
韓国	10人	タイ	3人	台湾5人、イギリス3人、フランス3人、オーストラリア2人、カナダ2人、リトアニア2人、オランダ2人、イタリア2人、イラン1人、シンガポール1人、アルゼンチン1人、ハンガリー1人、インド1人、ドイツ1人、ポーランド1人、アメリカ1人、モーリタニア1人
ブラジル	人	ペルー	人	
ベトナム	5人	フィリピン	16人	
ネパール	人	日本	人	

（5） 開催時間数（回数） 200時間　　（全100回）

（6） 取組の具体的内容

回数	開催日時	時間数	場所	参加者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成27年5月7日（木）10:15～12:30	2	京都府国際センター	10人	基礎クラスⅠ-①自己紹介ができる、物の名前を尋ねることができる	日本の挨拶ことばとおじぎ ・名前／国名は～です、お（名前、国）、挨拶表現、おじぎの習慣 ・～は～です、これ／それ／あれ／何、（国名）のN、どこの	京都「えき」日本語教室　浅田恭子	
2	平成27年5月11日（月）10:15～12:30	2	京都府国際センター	10人	基礎クラスⅠ-②売り場を聞くことができる、施設などの営業時間を聞く	量販店について、日本の施設の利用時間 ・～はここ/そこ/あそこです、～はどこですか、数字（0～100）、助数詞（～階） ・時間、今何時ですか、～は～時から～時までです	京都「えき」日本語教室　堀部裕美	
3	平成27年5月14日（木）10:15～12:30	2	京都府国際センター	10人	基礎クラスⅠ-③ファストフード店やカフェで注文できる	飲食店のサービス ・「ひとつ～とお」「200～万」の読みと聞き取り、助数詞（～円、～枚）、外来語表記とその発音	京都「えき」日本語教室　内田匡子	
4	平成27年5月18日（月）10:15～12:30	2	京都府国際センター	10人	基礎クラスⅠ-④自分の家族が紹介できる、自分の誕生日が言える	自分と相手の家族の呼称 ・数え方（人／年齢）、家族の呼称	京都「えき」日本語教室　浅田恭子	
5	平成27年5月21日（木）10:15～12:30	2	京都府国際センター	10人	基礎クラスⅠ-⑤目的地を尋ねることができる	標識や交番のマークについて ・～にあります／います、（移動手段）で、Nの（位置詞）に、（場所）から／まで	京都「えき」日本語教室　堀部裕美	
6	平成27年5月25日（月）10:15～12:30	2	京都府国際センター	10人	基礎クラスⅠ-⑥行き先を確かめてバスや電車に乗ることができる	切符の案内 ・行きます、来ます、帰ります、（場所）へ／から／まで、～と一緒に、～人で、（時）に、いつ	京都「えき」日本語教室　内田匡子	

7	平成27年5月28日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	10人	基礎クラスⅠ－⑦乗り物での忘れ物を届け出ることができる	忘れ物窓口で ・いadj.、なadj.、（いadj.／なadj.）＋Nです、どんなNですか、（いadj.／なadj.）です、～はどうですか	京都「えき」日本語教室　浅田恭子	
8	平成27年6月1日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	10人	基礎クラスⅠ－⑧旅行の感想を述べる	地域の名所、観光施設紹介、観光案内冊子 ・～はどうでしたか、～はadj.でした、～は～がadj.です／でした、それに、でも、挨拶表現	京都「えき」日本語教室　浅田恭子	
9	平成27年6月4日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	10人	基礎クラスⅠ－⑨自分の体調を医師に伝えることができる、医師の簡単な指示が理解できる	病院、受診料の種類 ・身体の名称、症状、どうしましたか、～が痛いです	京都「えき」日本語教室　堀部裕美	
10	平成27年6月8日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	10人	基礎クラスⅠ－⑩自分の日常生活について話すことができる	日本人の生活を紹介 ・NをVます／ました、（場所）でVます／ました、（時）にVます／ました	京都「えき」日本語教室　内田匡子	
11	平成27年6月11日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	10人	基礎クラスⅠ－⑪贈り物について話すことができる	日本の贈り物の習慣について ・（人）にVます／ました、あげます／もらいます	京都「えき」日本語教室　浅田恭子	
12	平成27年6月15日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	10人	基礎クラスⅠ－⑫図書館を利用する	公共施設（図書館、公民館）の利用方法 ・Nができます、V辞書形＋ことができます	京都「えき」日本語教室　堀部裕美	
13	平成27年6月18日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	10人	基礎クラスⅠ－⑬趣味について話す	日本の伝統的な趣味やスポーツ ・趣味はNです、趣味はV辞書形＋ことです、Nが好きです、V辞書形＋ことが好きです、Nが得意です	京都「えき」日本語教室　内田匡子	
14	平成27年6月22日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	10人	基礎クラスⅠ－⑭駅の券売機で切符が買える	自動販売機について ・Vて形＋ください、Vて形＋います（動作の進行）	京都「えき」日本語教室　浅田恭子	
15	平成27年6月25日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	10人	基礎クラスⅠ－⑮友達と住まいや仕事について話せる	訪問時の挨拶や習慣 ・Vて形＋います（習慣・状態）	京都「えき」日本語教室　浅田恭子	
16	平成27年6月29日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	10人	基礎クラスⅠ－⑯自分の希望・要求を伝えることができる	日本の観光地 ・Nがほしいです、NをVたいです、（場所）へ／でVたいです、（人）とVたいです、「どこか」と「どこへ」の違い、スピーチ指導	京都「えき」日本語教室　堀部裕美	
17	平成27年7月2日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	10人	基礎クラスⅠ－⑰警察に被害を伝える	安全な暮らし方 ・交通マナーを知る	京都「えき」日本語教室　内田匡子	
18	平成27年7月6日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	10人	基礎クラスⅠ－⑱ゴミの出し方について尋ねることができる	ゴミの分別の仕方 ・Vて形＋もいいですか、どうしてですか、～から（理由）、スピーチ指導	京都「えき」日本語教室　堀部裕美	
19	平成27年7月9日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	10人	基礎クラスⅠ－⑲人を誘ったり、人の誘いを受けたりすることができる	地域の行事やお祭について ・（場所）で（催し）があります、V＋ませんか、V＋ましょう、（場所）へN／Vに行きます、スピーチ指導	京都「えき」日本語教室　内田匡子	

20	平成27年7月13日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	10人	基礎クラスⅠ-⑳人の前でまとまった話ができる	日本の歌、遊び ・スピーチの原稿を正しく書き、話す	京都「えき」日本語教室　内田匡子	
21	平成27年5月7日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-① 初対面の挨拶ができる、注文ができる	初対面のマナー、日本のファストフード・レストランの注文の仕方 ・国名、職業名、場所＋の＋場所、自他の区別、お辞儀の習慣 ・買い物や注文をする時の表現、数・助数詞、これ・それ・あれ・どれ	京都「えき」日本語教室　坂牧修	
22	平成27年5月11日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-②自分の国（町）が紹介できる	京都の観光情報 ～は～が～です、～はどんなNですか、～はどうですか、それに／でも／けれども（けど）／が、（場所）に（N）があります／います	京都「えき」日本語教室　木村富士子	
23	平成27年5月14日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-③クリニックで診察を受けることができる	診察の手順、薬のもらい方 ・不調表現、身体部位名、いadj.～かったです／～くなかったです、なadj.～でした／～じゃありませんでした	京都「えき」日本語教室　松藤昌代	
24	平成27年5月18日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-④日本と出身地が比較できる	日本の四季と楽しみ方 ・N1はN2よりadj.です、N1とN2とどちらがadj.ですか、N1（の中）で何／どこ／だれ／いつ／がいちばんadj.ですか	京都「えき」日本語教室　木村富士子	
25	平成27年5月21日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑤人を誘う、誘いを受けたり、上手に断ったりできる	京都の三大祭と有名な行事 ・日常生活に必要な動詞、助詞「を」「で」「に」「から」「まで」、（場所）へ行きます／来ます／帰ります、Vませんか／ましょう	京都「えき」日本語教室　坂牧修	
26	平成27年5月25日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑥趣味・嗜好について友達と話せる	日本人の余暇の過ごし方 ・NはV辞書形ことが～です、V辞書形ことです、趣味は何ですか　Nです	京都「えき」日本語教室　木村富士子	
27	平成27年5月28日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑦携帯電話の契約ができる	役所でできること ・Vて形、Vて形ください、Vて形います、Vて形もいいです（か）	京都「えき」日本語教室　松藤昌代	
28	平成27年6月1日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑧ルールやマナーを理解して生活できる	地域や社会のルールとマナー（マンションのルールや公共マナーなど） ・Vない形、Vない形＋でください、Vなければなりません、Vて形＋はいけません、どうしてですか　～から	京都「えき」日本語教室　坂牧修	
29	平成27年6月4日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑨自分の思いや経験が話せる	日本文化と体験教室の紹介 普通体、Vた形、Vた形＋ことがあります／ありません、（普通体）と思います／言いました、私もそう思います、私はそう思いません	京都「えき」日本語教室　松藤昌代	
30	平成27年6月8日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑩友達と話す（普通体で話せる）	日本語に見られる「ウチ」と「ソト」 （普通体）んです、普通体の会話、女性語と男性語、関西弁	京都「えき」日本語教室　木村富士子	
31	平成27年6月11日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑪面接を受けることができる	履歴書の書き方を紹介する ・V可能形、だけ～ます、しか～ません、ぜんぜん～ません、見える、聞こえる	京都「えき」日本語教室　坂牧修	
32	平成27年6月15日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑫洋服の寸法直しが頼める	・Vて形から、～、V辞書形まえに、～、VてVます、いadj.くします（くしてください）、なadj.／Nにします（にしてください）、普通体ので～	京都「えき」日本語教室　木村富士子	

33	平成27年6月18日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑬店で修理の依頼ができる	電化製品の保証書と修理依頼 ・他動詞、自動詞、V自動詞（て形）＋います、～のに～	京都「えき」日本語教室　松藤昌代	
34	平成27年6月22日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑭災害情報を人に聞いて適切な行動ができる	緊急情報を知る手段 ・どうやって、～そうです（様態）、Vた形＋ほうがいいです、Vない形＋ほうがいいです、体験学習練習	京都「えき」日本語教室　坂牧修	
35	平成27年6月25日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑮子供時代や現在のこと、将来の希望が話せる	日本で人気がある職業 ・～（普通体）とき～、Vたり、Vたりします（しました）、adj.／Nになります、V可能形ようになります	京都「えき」日本語教室　松藤昌代	
36	平成27年6月29日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑯情報を得て予定を立てる	長期休暇中の交通状況 ・～かもしれません（かも）、～そうです（伝聞）、Vて形＋おきます、スピーチ指導	京都「えき」日本語教室　木村富士子	
37	平成27年7月2日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑰警察（110番）に被害を報告する、警察署の講習を受ける	交通ルール ・警察への被害届の出し方	京都「えき」日本語教室　坂牧修	
38	平成27年7月6日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑱再配達の依頼ができる	宅配便の利用の仕方 ・～たら、～、～たらいいですか、～までに／～まで、スピーチ指導	京都「えき」日本語教室　松藤昌代	
39	平成27年7月9日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑲ATMが使える、わからない場所を人に聞いて目的地に行ける	ATMの使い方、京都特有の住所表示 ・V辞書形と、～（条件）、Vない形と、（条件） ・V辞書形と、～（道案内）、体験学習練習、スピーチ指導	京都「えき」日本語教室　坂牧修	
40	平成27年7月13日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑳人の前でまとまった話ができる	・スピーチの原稿を正しく書き、話す、スピーチを理解し内容について質問する	京都「えき」日本語教室　木村富士子	
41	平成27年10月1日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスⅠ-① 自己紹介ができる、物の名前を尋ねることができる	日本の挨拶ことばとおじぎ ・名前／国名は～です、お（名前、国）、挨拶表現、おじぎの習慣 ・～は～です、これ／それ／あれ／何、（国名）のN、どこの	京都「えき」日本語教室　堀部裕美	
42	平成27年10月5日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスⅠ-② 売り場を聞くことができる、施設などの営業時間を聞く	量販店について、日本の施設の利用時間 ・～はここ/そこ/あそこです、～はどこですか、数字（0～100）、助数詞（～階） ・時間、今何時ですか、～は～時から～時までです	京都「えき」日本語教室　内田匡子	
43	平成27年10月8日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスⅠ-③ファストフード店やカフェで注文できる	飲食店のサービス ・「ひとつ～とお」「200～万」の読みと聞き取り、助数詞（～円、～枚）、外来語表記とその発音	京都「えき」日本語教室　瀬尾華奈	
44	平成27年10月15日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスⅠ-④自分の家族が紹介できる、自分の誕生日が言える	自分と相手の家族の呼称 ・数え方（人／年齢）、家族の呼称	京都「えき」日本語教室　堀部裕美	

45	平成27年10月19日（月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスⅠ-⑤目的地を尋ねることができる	標識や交番のマークについて ・～にあります／います、（移動手段）で、Nの（位置詞）に、（場所）から／まで	京都「えき」日本語教室　内田匡子	
46	平成27年10月22日（木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスⅠ-⑥行き先を確かめてバスや電車に乗ることができる	切符の案内 ・行きます、来ます、帰ります、（場所）へ／から／まで、～と一緒に、～人で、（時）に、いつ	京都「えき」日本語教室　瀬尾華奈	
47	平成27年10月26日（月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスⅠ-⑦乗り物での忘れ物を届け出ることができる	忘れ物窓口で ・いadj.、なadj.、（いadj.／なadj.）＋Nです、どんなNですか、（いadj.／なadj.）です、～はどうですか	京都「えき」日本語教室　堀部裕美	
48	平成27年10月29日（木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスⅠ-⑧旅行の感想を述べる	地域の名所、観光施設紹介、観光案内冊子 ・～はどうでしたか、～はadj.でした、～は～がadj.です／でした、それに、でも、挨拶表現	京都「えき」日本語教室　内田匡子	
49	平成27年11月2日（月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスⅠ-⑨自分の体調を医師に伝えることができる、医師の簡単な指示が理解できる	病院、受診料の種類 ・身体の名称、症状、どうしましたか、～が痛いです	京都「えき」日本語教室　瀬尾華奈	
50	平成27年11月5日（木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスⅠ-⑩自分の日常生活について話すことができる	日本人の生活を紹介 ・NをVます／ました、（場所）でVます／ました、（時）にVます／ました	京都「えき」日本語教室　堀部裕美	
51	平成27年11月9日（木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスⅠ-⑪贈り物について話すことができる	日本の贈り物の習慣について ・（人）にVます／ました、あげます／もらいます	京都「えき」日本語教室　内田匡子	
52	平成27年11月12日（木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスⅠ-⑫図書館を利用する	公共施設（図書館、公民館）の利用方法 ・Nができます、V辞書形＋ことができます	京都「えき」日本語教室　堀部裕美	
53	平成27年11月16日（月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスⅠ-⑬趣味について話す	日本の伝統的な趣味やスポーツ ・趣味はNです、趣味はV辞書形＋ことです、Nが好きです、V辞書形＋ことが好きです、Nが得意です	京都「えき」日本語教室　瀬尾華奈	
54	平成27年11月19日（木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスⅠ-⑭駅の券売機で切符が買える	自動販売機について ・Vて形＋ください、Vて形＋います（動作の進行）	京都「えき」日本語教室　内田匡子	
55	平成27年11月26日（木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスⅠ-⑮友達と住まいや仕事について話せる	訪問時の挨拶や習慣 ・Vて形＋います（習慣・状態）	京都「えき」日本語教室　瀬尾華奈	
56	平成27年11月30日（月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスⅠ-⑯自分の希望・要求を伝えることができる	日本の観光地 ・Nがほしいです、NをVたいです、（場所）へ／でVたいです、（人）とVたいです、「どこか」と「どこへ」の違い、スピーチ指導	京都「えき」日本語教室　堀部裕美	
57	平成27年12月3日（木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスⅠ-⑰ゴミの出し方について尋ねることができる	ゴミの分別の仕方 ・Vて形＋もいいですか、どうしてですか、～から（理由）、スピーチ指導	京都「えき」日本語教室　堀部裕美	

58	平成27年12月7日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスⅠ-⑱消防に緊急通報する	安全な暮らし方 ・災害時の対応方法を知る	京都「えき」日本語教室　内田匡子	
59	平成27年12月10日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスⅠ-⑲人を誘ったり、人の誘いを受けたりすることができる	地域の行事やお祭について ・（場所）で（催し）があります、V＋ませんか、V＋ましょう、（場所）へN／Vに行きます、スピーチ指導	京都「えき」日本語教室　内田匡子	
60	平成27年12月14日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスⅠ-⑳人の前でまとまった話ができる	日本の歌、遊び ・スピーチの原稿を正しく書き、話す	京都「えき」日本語教室　堀部裕美	
61	平成27年10月1日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-① 初対面の挨拶ができる、注文ができる	初対面のマナー、日本のファストフード・レストランの注文の仕方 ・国名、職業名、場所＋の＋場所、自他の区別、お辞儀の習慣 ・買い物や注文をする時の表現、数・助数詞、これ・それ・あれ・どれ	京都「えき」日本語教室　木村富士子	
62	平成27年10月5日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-②自分の国（町）が紹介できる	京都の観光情報 ～は～が～です、～はどんなNですか、～はどうですか、それに／でも／けれども（けど）／が、（場所）に（N）があります／います	京都「えき」日本語教室　松藤昌代	
63	平成27年10月8日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-③クリニックで診察を受けることができる	診察の手順、薬のもらい方 ・不調表現、身体部位名、いadj.～かったです／～くなかったです、なadj.～でした／～じゃありませんでした	京都「えき」日本語教室　坂牧修	
64	平成27年10月15日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-④日本と出身地が比較できる	日本の四季と楽しみ方 ・N1はN2よりadj.です、N1とN2とどちらがadj.ですか、N1（の中）で何／どこ／だれ／いつ／がいちばんadj.ですか	京都「えき」日本語教室　松藤昌代	
65	平成27年10月19日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑤人を誘う、誘いを受けたり、上手に断ったりできる	京都の三大祭と有名な行事 ・日常生活に必要な動詞、助詞「を」「で」「に」「から」「まで」、（場所）へ行きます／来ます／帰ります、Vませんか／ましょう	京都「えき」日本語教室　木村富士子	
66	平成27年10月22日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑥趣味・嗜好について友達と話せる	日本人の余暇の過ごし方 ・NはV辞書形ことが～です、V辞書形ことです、趣味は何ですか　Nです	京都「えき」日本語教室　坂牧修	
67	平成27年10月26日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑦携帯電話の契約ができる	役所でできること ・Vて形、Vて形ください、Vて形います、Vて形もいいです（か）	京都「えき」日本語教室　木村富士子	
68	平成27年10月29日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑧ルールやマナーを理解して生活できる	地域や社会のルールとマナー（マンションのルールや公共マナーなど） ・Vない形、Vない形＋でください、Vなければなりません、Vて形＋はいけません、どうしてですか　～から	京都「えき」日本語教室　松藤昌代	
69	平成27年11月2日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑨自分の思いや経験が話せる	日本文化と体験教室の紹介 普通体、Vた形、Vた形＋ことがあります／ありません、（普通体）と思います／言いました、私もそう思います、私はそう思いません	京都「えき」日本語教室　坂牧修	
70	平成27年11月5日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑩友達と話す（普通体で話せる）	日本語に見られる「ウチ」と「ソト」 （普通体）んです、普通体の会話、女性語と男性語、関西弁	京都「えき」日本語教室　松藤昌代	

71	平成27年11月9日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑪面接を受けることができる	履歴書の書き方を紹介する ・V可能形、だけ～ます、しか～ません、ぜんぜん～ません、見える、聞こえる	京都「えき」日本語教室　木村富士子	
72	平成27年11月12日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑫洋服の寸法直しが頼める	・Vて形から、～、V辞書形まえに、～、VてVます、いadj.くします（くしてください）、なadj.／Nにします（にしてください）、普通体ので～	京都「えき」日本語教室　坂牧修	
73	平成27年11月16日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑬店で修理の依頼ができる	電化製品の保証書と修理依頼 ・他動詞、自動詞、V自動詞（て形）＋います、～のに～	京都「えき」日本語教室　木村富士子	
74	平成27年11月19日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑭災害情報を人に聞いて適切な行動ができる	緊急情報を知る手段 ・どうやって、～そうです（様態）、Vた形＋ほうがいいです、Vない形＋ほうがいいです、体験学習練習	京都「えき」日本語教室　松藤昌代	
75	平成27年11月26日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑮子供時代や現在のこと、将来の希望が話せる	日本で人気がある職業 ・～（普通体）とき～、Vたり、Vたりします（しました）、adj.／Nになります、V可能形ようになります	京都「えき」日本語教室　坂牧修	
76	平成27年11月30日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑯情報を得て予定を立てる	長期休暇中の交通状況 ・～かもしれません（かも）、～そうです（伝聞）、Vて形＋おきます、スピーチ指導	京都「えき」日本語教室　木村富士子	
77	平成27年12月3日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑰再配達の依頼ができる	宅配便の利用の仕方 ・～たら、～、～たらいいですか、～までに／～まで、スピーチ指導	京都「えき」日本語教室　松藤昌代	
78	平成27年12月7日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑱消防（119番）に緊急通報する、消防署の講習を受ける	災害時の対応 ・消防への通報の仕方、スピーチ指導	京都「えき」日本語教室　坂牧修	
79	平成27年12月10日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑲ATMが使える、わからない場所を人に聞いて目的地に行ける	ATMの使い方、京都特有の住所表示 ・V辞書形と、～（条件）、Vない形と、（条件） ・V辞書形と、～（道案内）、体験学習練習、スピーチ指導	京都「えき」日本語教室　坂牧修	
80	平成27年12月14日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスⅡ-⑳人の前でまとまった話ができる	・スピーチの原稿を正しく書き、話す、スピーチを理解し内容について質問する	京都「えき」日本語教室　松藤昌代	
81	平成28年1月28日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	15人	基礎クラスA1-① 自己紹介ができる、挨拶ができる	日本の挨拶ことばとおじぎ 自己紹介のしかた、挨拶表現、お（国、名前）　仕事の名前	京都「えき」日本語教室　浅田恭子	
82	平成28年2月1日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	5人	基礎クラスA1-② 物の名前を尋ねることができる	日本の食文化 ～は～です、これ／それ／あれ／どれ、～は何ですか、（国名）のN、数字（1～100）、～は日本語で何ですか	京都「えき」日本語教室　浅田恭子	
83	平成28年2月4日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	5人	基礎クラスA1-③ 買い物・注文をすることができる	飲食店のサービス いくらですか、いくら（ひとつ～とお）、これをお願いします（買い物・注文）、お金（1円～10000円）、NとN、も、ぜんぶで	京都「えき」日本語教室　浅田恭子	

84	平成28年2月8日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	5人	基礎クラスA1-④ 場所を聞くことができる、施設などの営業時間を聞くことができる	量販店について、日本の施設の利用時間 ～はここ/そこ/あそこです、～はどこですか、ここ／そこ／あそこは～です 時間、今何時ですか、～は～時から～時までです	京都「えき」日本語教室　浅田恭子	
85	平成28年2月15日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	5人	基礎クラスA1-⑤ 目的地をたずねることができる、外出について話すことができる	～へ行きます／行きました、～へ来ます／来ました、～へ帰ります／帰りました、いつ、～月～日、曜日、（時）に	京都「えき」日本語教室　浅田恭子	
86	平成28年2月18日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	5人	基礎クラスA1-⑥ 自分の日常生活について話すことができる	日本人の生活を紹介 NをVます／Vません、NをVました／Vませんでした、（場所）でVます／Vました	京都「えき」日本語教室　浅田恭子	
87	平成28年2月22日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	5人	基礎クラスA1-⑦ 物の様子を話すことができる	い形／な形の用法（現在）、どんなNですか、～はどうですか、～は～が～です	京都「えき」日本語教室　浅田恭子	
88	平成28年2月25日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	5人	基礎クラスA1-⑧ 自分の調子を伝えることができる	ドラッグストアと薬剤師 身体の名称、症状、どうしましたか、～が痛いです	京都「えき」日本語教室　山野範枝	
89	平成28年2月29日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	5人	基礎クラスA1-⑨ 電車やバスに乗ることができる	日本の観光地 ～たいです、～がほしいです、どうやって行きますか	京都「えき」日本語教室　山野範枝	
90	平成28年3月3日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	5人	基礎クラスA1-⑩ みんなで話しましょう	（人に）あげます／もらいます、1～9回で学習した語彙・文型を使って話す	京都「えき」日本語教室　浅田恭子	
91	平成28年1月28日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスA2-① 自己紹介ができる、店で買い物ができる	～は～です、お（名前、国、仕事）、これ／それ／あれ／どれ、ここ／そこ／あそこ／どこ、～も、～の、あいさつ、数字（100～万）、助数詞（円、つ、枚）	京都「えき」日本語教室　坂牧修	
92	平成28年2月1日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスA2-② 目的地へ移動することができる	あります／います、位置詞、（場所へ）行きます／来ます／帰ります、（乗り物）で	京都「えき」日本語教室　木村富士子	
93	平成28年2月4日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスA2-③ 落とし物や忘れ物について説明することができる	い形／な形の用法（現在）、どんなNですか、～はどうですか	京都「えき」日本語教室　坂牧修	
94	平成28年2月8日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスA2-④ 休日の過ごし方について話すことができる	NをVます／Vません、NをVました／Vませんでした、（場所）でVます／Vました、（時）にVます／Vました、（人）にVます／Vました	京都「えき」日本語教室　木村富士子	
95	平成28年2月15日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスA2-⑤ 日常生活の印象や感想を言うことができる	い形／な形の用法（過去）、～はどうでしたか、それに、でも（けど／けれども／が）	京都「えき」日本語教室　木村富士子	
96	平成28年2月18日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスA2-⑥ 自分の意思を伝えることができる	Nがほしいです／ほしくないです、NをVたいです／Vたくないです、Vませんか、Vましょう	京都「えき」日本語教室　坂牧修	

97	平成28年2月22日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスA2-⑦ 趣味や特技について話すことができる	Nができます／好きです／上手です／得意です、趣味はNです／V辞書形＋ことです、Vのグループ分け、V辞書形の作り方	京都「えき」日本語教室　木村富士子	
98	平成28年2月25日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスA2-⑧ 困ったとき、助けを求めることができる	Vて形の作り方、Vて形＋ください、Vて形＋います（動作の進行）	京都「えき」日本語教室　坂牧修	
99	平成28年2月29日 （月） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスA2-⑨ 許可を得ることができる	Vて形＋もいいですか、いいですよ。どうぞ／すみません。ちょっと、どうしてですか、～から（理由）、Vて形＋います（習慣・状態）	京都「えき」日本語教室　木村富士子	
100	平成28年3月3日 （木） 10:15～12:30	2	京都府国際センター	13人	基礎クラスA2-⑩ みんなで話しましょう	テーマに必要なことば・表現	京都「えき」日本語教室　坂牧修	

（7） 特徴的な活動風景（2～3回分）

活動例①

【第74回　平成27年11月19日】
災害情報を人に聞いて適切な行動ができる
導入：絵カード、写真、防災のパンフレットを提示して、日本は台風や地震が多いことを説明する
教室活動：
①ことば・表現を提示し、発音と意味、用法を練習する
②「どうやって」は未知の事柄について尋ねる時に使う
③「そうです」、「ほうがいいです」の用法
④会話例「台風」をもとに被害の大きい災害について話す（「外国人のための防災ガイドブック」を参照）
⑤学習者の国ではどんな災害があるか、避難するときどこが安全か話し合う
⑥災害に備え何を準備すればよいか、防災ガイドブックを参考に話し合う
⑦漢字を提示し、読み方を中心に練習する

活動例②

【第78回　平成27年12月7日】
消防（119番）に緊急通報する、消防署の講習を受ける
導入：事故や災害の様子を写真や絵カードで紹介する
教室活動：
①事故、災害時のことばや表現を理解する（対訳）
②名前、住所、電話番号を言えるようになる
③会話例「火事」をもとに練習する
④消防署の話を聞く（通訳付き）
⑤電話を使い通報練習をする

（8） 目標の達成状況・成果

在住外国人に対し生活に必要な日本語の学習機会を提供することに加え、地域の教室に向けた日本語学習支援のためのモデル教室として実施していることから、学習教材を公開するとともに地域日本語教室（7団体23名）からの見学を受け入れを行い、教室運営の参考としてもらった。

（9） 今後の改善点について

学習教材の配布や授業見学受け入れなど指導方法のノウハウを地域日本語教室に積極的に伝えていくことで、モデル教室としての役割を果たしていく必要がある。

取組3：日本語学習支援人材の育成

（1）体制整備に向けた取組の目標

日本語学習支援が十分に行き届いていない地域において日本語支援ボランティアを養成することで日本語教室立ち上げを支援し、学習環境の整備につなげる。また日本語指導や教室運営などの研修を既存のボランティアに対して行うことで各地域の日本語教室の質を高め、持続可能なものとする。さらにそれらを市町村と協働で実施することで日本語教育事業の取組やその必要性を認識してもらう。

（2）取組内容

府内地域日本語教室への支援として人材の養成を行う。

（3）対象者

・地域の日本語教育および外国人支援に関心があり、講座修了後、日本語支援ボランティアとして活動する意志のある方
・日本語支援ボランティアとして地域で活動している方

（4）参加者の総数　　204 人（延べ人数ではなく，受講した人数を記載すること。）

そのうちの日本語学習者数　　＿＿＿＿＿＿ 人

【出身・国籍別内訳】

中国	人	インドネシア	人	
韓国	人	タイ	人	・
ブラジル	人	ペルー	人	・
ベトナム	人	フィリピン	人	・
ネパール	人	日本	204人	

（5） 開催時間数（回数）　93.5時間　（全24回）

（6） 取組の具体的内容

回数	開催日時	時間数	場所	参加者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成27年5月17日（日）10:00～13:30	3.5	京都府国際センター	57人	日本語教室運営研修	口頭発表およびポスターセッションによる各教室の活動紹介（亀岡日本語教室、京都国際文化協会、京丹波町国際交流協会）		
2	平成27年7月5日（日）13:30～16:30	3	南丹市国際交流協会	27人	日本語支援ボランティア研修会	日本語支援活動の心構え、授業の流れ（導入・練習・展開）、ワークショップ、各グループ発表、質疑応答	西澤悦子 高橋佐代子	高橋佐代子 西澤悦子
3	平成27年8月1日（土） 13:00～16:00	3	京都府国際センター	13人	日本語指導研修会	コミュニケーションの全般を考えてみる、支援者の悩み&学習者の悩み、悩みの共有・みんなで解決！	安田乙世	
4	平成27年10月25日（日） 10:00～13:00	3	京都府国際センター	8人	外国につながる子どもサポート研修会	外国につながる子どもの学習支援について～「かめおか・ひまわり教室」の活動～	児嶋きよみ	
5	平成27年12月13日（日）13:30～16:30	3	ガレリアかめおか	23人	日本語支援ボランティア研修会	さまざまなタイプの学習者に対する教え方（例と解説、質疑応答）、教え方の実習（グループワーク、全体共有、発表、講評）	西澤悦子 高橋佐代子	高橋佐代子 西澤悦子
6	平成28年1月17日（日）10:30～15:30	4	京都府国際センター	33人	日本語支援ボランティア研修会	漢字学習のシラバスを考える、文字学習活動のための教材作成	新矢麻紀子	
7	平成27年9月30日（水）10:30～16:30	5	綾部市林業センター	11人	日本語初期指導担当者養成講座	スタートにあたって、初級と中級の違い、「読み」の教え方など	京都日本語教育センター	
8	平成27年10月7日（水）10:30～16:30	5	綾部市林業センター	11人	日本語初期指導担当者養成講座	模擬授業①可能形1／可能形2／みえる・きこえる／読む	京都日本語教育センター	鍋田ノルマ 徳島ジネール 田畑アミー 上林ジナ
9	平成27年10月14日（水）10:30～16:30	5	綾部市林業センター	11人	日本語初期指導担当者養成講座	模擬授業②自動詞・他動詞／～ています／～てあります／読む	京都日本語教育センター	鍋田ノルマ 徳島ジネール 田畑アミー 上林ジナ

10	平成27年10月21日 (水)10:30～16:30	5	綾部市林業センター	11人	日本語初期指導担当者養成講座	模擬授業③～ておきます／意向形／～ようと思っています／読む	京都日本語教育センター	鍋田ノルマ 徳島ジネール 田畑アミー 上林ジナ
11	平成27年10月28日 (水)10:30～16:30	5	綾部市林業センター	11人	日本語初期指導担当者養成講座	模擬授業④～かもしれません／条件形／～ようになります／読む	京都日本語教育センター	鍋田ノルマ 徳島ジネール 上林ジナ
12	平成27年11月4日 (水)10:30～16:30	5	綾部市林業センター	11人	日本語初期指導担当者養成講座	模擬授業⑤～ように(目的)／～ようにしています／受け身1／読む	京都日本語教育センター	鍋田ノルマ 徳島ジネール 田畑アミー 上林ジナ
13	平成27年11月11日 (水)10:30～16:30	5	綾部市林業センター	11人	日本語初期指導担当者養成講座	模擬授業⑥受け身2(被害)／受け身2(物が主語の受け身)／～そうです(様態)／読む	京都日本語教育センター	鍋田ノルマ 徳島ジネール 田畑アミー 上林ジナ
14	平成27年11月18日 (水)10:30～16:30	5	綾部市林業センター	11人	日本語初期指導担当者養成講座	模擬授業⑦～そうです(伝聞)／～ようです／使役1／読む	京都日本語教育センター	鍋田ノルマ 徳島ジネール 田畑アミー 辻本ジョセフィーナ
15	平成27年11月25日 (水)10:30～16:30	5	綾部市林業センター	11人	日本語初期指導担当者養成講座	模擬授業⑧使役2／尊敬語／謙譲語／読む	京都日本語教育センター	鍋田ノルマ 徳島ジネール 田畑アミー 上林ジナ
16	平成27年12月2日 (水)10:30～16:30	5	京都府国際センター	11人	日本語初期指導担当者養成講座	まとめ　講座を通しての質疑応答	京都日本語教育センター	
17	平成28年1月9日 (土)13:30～16:30	3	丹波マーケス	25人	日本語支援ボランティア養成講座	イントロダクション なぜ日本語ボランティア 日本語ボランティアとは 外国人から見た日本語	浜田麻里	
18	平成28年1月16日 (土)13:30～16:30	3	丹波マーケス	20人	日本語支援ボランティア養成講座	演習1　です・ます形 ・使う場面や使い方を考える ・です・ます形の解説 ・教え方の紹介	高橋佐代子	
19	平成28年1月23日 (土)13:30～16:30	3	丹波マーケス	18人	日本語支援ボランティア養成講座	演習2　動詞のグループ分け、て形について ・使う場面や使い方を考える ・グループ分け、て形の解説 ・教え方の紹介	若松章子	西澤悦子 高橋佐代子
20	平成28年1月30日 (土)13:30～16:30	3	丹波マーケス	19人	日本語支援ボランティア養成講座	演習3　普通形について ・使う場面や使い方を考える ・普通形の解説 ・教え方の紹介	西澤悦子	高橋佐代子 山野範枝
21	平成28年2月6日 (土)13:30～16:30	3	丹波マーケス	19人	日本語支援ボランティア養成講座	実習1　模擬授業 演習で習ったことを使って実際に外国人学習者に教えてみる	西澤悦子	高橋佐代子 若松章子 山野範枝 鍋田ノルマ 田畑アミー 徳島ジネール 生駒ノリー 表田ナア 森内リン グェンバンタン グェンマントアン チュオン キーマン ルゴッククァン チャンバンシン
22	平成28年2月13日 (土)13:30～16:30	3	丹波マーケス	19人	日本語支援ボランティア養成講座	演習4　形容詞について ・使う場面や使い方を考える ・形容詞の解説 ・教え方の紹介	若松章子	西澤悦子 高橋佐代子

23	平成28年2月20日 （土）13:30～16:30	3	丹波マーケス	17人	日本語支援ボランティア養成講座	演習5　可能形について ・使う場面や使い方を考える ・可能形の解説 ・教え方の紹介	高橋佐代子	西澤悦子 若松章子
24	平成28年2月27日 （土）13:30～16:30	3	丹波マーケス	20人	日本語支援ボランティア養成講座	実習2　模擬授業 演習で習ったことを使って実際に外国人学習者に教えてみる	西澤悦子	高橋佐代子 若松章子 山野範枝 岡本絹子 鍋田ノルマ 田畑アミー 徳島ジネール 生駒ノリー 表田ナア 森内リン グェンバンタン ダンディントアン トランユイロン ルーゴッククアン

（7） 特徴的な活動風景（2～3回分）

活動例①

【第1回　平成27年5月17日】
日本語教室運営研修
口頭発表およびポスターセッションによる各教室の活動紹介（発表団体：亀岡日本語教室、京都国際文化協会、京丹波町国際国留協会）、日本語支援ボランティア交流会

活動例②

【第17回　平成28年1月9日】
日本語支援ボランティア養成講座イントロダクション
・なぜ日本語ボランティア
・日本語ボランティアって何をすればいいの？
・国語とはちがう…外国人から見た日本語
・ボランティアとしての更なる向上をめざして…

（8） 目標の達成状況・成果

・ボランティア養成講座については、府内の地域日本語教室のネットワーク組織である「京都にほんごRings」の加盟教室からの経験豊富な講師陣の丁寧な指導により参加者の満足度は非常に高いものだった。すでに活動している方を含め修了者の8割から今後の日本語支援活動参加の希望があった。また、このような人材養成講座への参加機会を得られずに支援活動に従事しているボランティアを多数抱える地域の教室へは効果的な支援となった。
・初期指導講座については、日本語教師養成機関を講師として昨年と合わせて150時間というボリュームで本格的な講座を提供することで各教室において日本語指導の核となるメンバーを養成できたことは各団体にとっても大きなメリットであり大変有意義であった。今後はこの人材を活かして広域散在地域への対応を検討していきたい。
・ボランティアを対象としたスキルアップ研修や団体運営に係る研修については、日本語支援活動を継続していくためには欠かせないものであるが、各教室が単独で実施するには予算や人員の面から容易ではないため、当センターが広域的に実施することで効率よく各団体への支援となっている。

（9） 今後の改善点について

ボランティア養成講座については、空白地解消の最重要ツールとして機能しているが、地域教室から府北部、南部でそれぞれ定期開催を希望する声が多いため、講師やサポートメンバーの確保のためより多くの教室から協力を得て関わる団体を増やしながらネットワーク形成も含めて取り組んでいく必要がある。

取組4：日本語教育理解促進事業

（1）体制整備に向けた取組の目標

日本語教育体制整備のため全国各地で様々な事業が展開されているが、一般住民にはまだまだ遠い存在であり、その意義が広く一般に認知されているとは言えない現状である。日本語教育は多文化共生の核であり、外国人住民支援だけでなく日本語を獲得することで社会参画し、地域に貢献できる人材を輩出するという意義があるということについて行政や一般住民の理解を促す。

（2）取組内容

一般住民向けの地域イベントなどにおいて、活動報告やブース出展により各日本語教室のPRや日本語教育の必要性について啓発を行った。

（3）対象者

一般住民

（4）参加者の総数　**4,678** 人（延べ人数ではなく，受講した人数を記載すること。）

そのうちの日本語学習者数　＿＿＿＿＿＿人

【出身・国籍別内訳】

中国	人	インドネシア	人	
韓国	人	タイ	人	・
ブラジル	人	ペルー	人	・
ベトナム	人	フィリピン	人	・
ネパール	人	日本	人	

（5） 開催時間数（回数）　26．5時間　（全4回）

（6） 取組の具体的内容

回数	開催日時	時間数	場所	参加者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成27年9月12日（土）・13日（日）10:00～18:00	16	京都駅ビル	2,645人	多文化共生、日本語教育への理解促進	国際協力広報イベント「国際協力ステーション」における多文化共生・日本語教育への府民の理解促進のためのブース出展		
2	平成27年9月19日（土）・20日（日）10:00～16:00	12	京都パルスプラザ	1,000人	多文化共生、日本語教育への理解促進	府民交流イベント「SKYふれあいフェスティバル2015」における多文化共生・日本語教育への府民の理解促進のためのブース出展		
3	平成27年11月23日（月・祝）10:00～16:00	6	京都府立植物園	1,000人	多文化共生、日本語教育への理解促進	府民交流イベント「あすのKyoto・地域創生フェスタ」における多文化共生・日本語教育への府民の理解促進のためのブース出展		
4	平成28年2月28日（日）13:30～16:00	2.5	京都府国際センター	33人	多文化共生、日本語教育への理解促進	「多文化共生セミナー」多文化共生の地域づくり、京都府国際センターの取組、グループワーク	時光	

（7） 特徴的な活動風景（2～3回分）

活動例①

【第3回　平成27年11月23日】
あすKyoフェスタ　ブース出展
多文化共生・日本語教育に関するクイズを実施
・ブース前で来場者にクイズに参加してもらうようスタッフが案内・PR
・ブース内で来場者がクイズに解答（留学生や国際交流員などの担当スタッフが質問シートを提示し、来場者と会話しながらヒント（掲示パネル等）も示す）
・全問正解者は抽選会に参加

活動例②

【第4回　平成28年2月28日】
多文化共生セミナー
講演「多文化共生ってなんだろう～国際的スキルを活かした地域活動とは～」
京都府国際化の現状と京都府国際センターの取組紹介
グループワーク「国際的スキルを地域へ還元」

（8） 目標の達成状況・成果

多文化共生や日本語教育については一般住民への理解促進が容易ではないが、留学生や国際交流員の協力を得ることで楽しく身近なものとしてアピールができた。当センターとしては昨年度からの新たな取り組みであるが、広く一般住民の方々への啓発活動としては効果的であるため、今後も引き続き取り組んでいきたい。

（9） 今後の改善点について

一般住民には遠い存在であり、その意義や存在が認知されていない日本語教育や日本語教室を身近に感じてもらえるよう、地域日本語教室や市町村国際交流協会などと連携しながら啓発ブースの出展や活動報告会などの機会を各地で設ける必要がある。

8. 事業に対する評価について

（1） 事業の目的・目標

地域における日本語支援などの多文化共生に係る施策を推進するにあたり、府内市町村や市町村国際化協会だけでは十分に事業を展開できないケースが多い。そのため、当センターが中心となって日本語支援ボランティアの養成・研修や日本語教室の立ち上げ・運営に関する支援事業を各地域で展開し、京都府の日本語教育体制の整備につなげる。また、地域における日本語教育を持続可能なものとするため、事業実施にあたっては各市町村と協働し、行政の役割としての日本語教育について理解を深めてもらう。

（2） 目的・目標の達成状況

府内日本語教室のネットワーク化を目的とした京都府日本語教室ネットワーク会議をベースとして、府内日本語教育体制について協議し、そこで出た課題や情報をもとに市町村国際交流協会など地域団体と協働しての人材養成や研修を実施した。また日本語教室においては外国人住民へ日本語学習の機会を提供できたことに加え、カリキュラムや指導法を公開するなど地域日本語教室の参考となる教室モデルを示すことができた。
これらの取り組みも含め日本語教育の必要性について一般住民にアピールする場も新たに設けることで理解促進を図った。

（3） 地域における事業の効果，成果

・京都府日本語教室ネットワーク会議の実施
　府内の日本語教育体制整備のための研修や教室の課題解決のための意見交換などが積極的に行われていることに加え、人材育成への協力依頼など新たな日本語教室立ち上げにも繋がっている。また、日本語教室空白地からの参加もあり、定期的に会議を設けていることの意義は大きい。
・日本語学習支援人材の育成
　新規支援者の養成や既存支援者への研修など人材を養成することにより地域日本語教室への支援ができた。特に日本語初期指導を担える人材の養成は各教室にとって大きな支援となったのみならず、今後の広域散在地域への対応に向けての第一歩となった。
・外国人住民のための日本語教室
　標準的なカリキュラム案にもとづいた学習教材の配布や教室見学受け入れを行うことで地域日本語教室の支援を行った。
・日本語教育理解促進事業
　国際協力イベントや府民交流イベントなどへの参加により一般住民に対して日本語教育の理解促進を図った。

（4） 地域の関係者との連携による効果，成果

府内市町村、市町村国際化協会および府内日本語教室ネットワーク組織である京都にほんごRingsと連携して日本語教室のネットワーク化を図り、日本語学習支援の人材育成において日本語学校や地域日本語教室の協力を得て新規ボランティアの養成や既存ボランティアの研修を実施。
また、人材養成後には開催地各市町村や市町村国際化協会に日本語支援ボランティアの受け皿役を担ってもらった。

（5） 事業実施に当たっての周知・広報と，事業成果の地域への発信等について

・当センターのHP・機関誌に加え、事業実施地域の市町村や国際化協会の広報ツールを活用して参加者への周知・広報を行った。
・外国人住民の府政への参加を推進し、外国人住民と共に生きる京都府づくりを進めることを目的に設置されている「京都府外国籍府民共生施策懇談会」にて日本語教育に係る事業成果の報告を行った。

（6） 改善点，今後の課題について

①京都市を除く京都府内市町村では外国人住民は広域的に散在しており、市町村および国際化協会の多くが規模が小さいため、多文化共生事業にまで取り組むことが困難である。そのような中、多文化共生推進において要となる日本語教育については、地域日本語教室の多くは行政の支援が得られず、ボランティアの善意と熱意でようやく成り立っている現状であり、学習機会の提供、指導人材の育成、一般住民への理解促進などに課題を抱えている。
②日本語教育体制整備のため全国各地で様々な取り組みが展開されているが、一般住民にはまだまだ遠い存在であり、その意義が広く一般に認知されているとは言えない状況にある。日本語教育は多文化共生の要であり、外国人住民への支援だけでなく、日本語を獲得することで社会参画し、地域に貢献できる人材を輩出するという意義について行政や一般住民の理解を促す必要がある。また、現在ボランティアに依存している地域の日本語教育について、行政がその役割を認識して地域日本語教室と協働して取り組んでいけるような体制を整備する必要がある。
③・府内日本語教室のネットワーク化
・府内市町村へのモデルとしての日本語教室の開催
・地域と協働した日本語学習支援人材の育成（日本語学習支援者の拡大と中核メンバーの養成）
・広域散在に対応した日本語学習支援
・日本語教育への理解促進

（7） その他参考資料

・アンケート（日本語支援ボランティア研修会、日本語初期指導担当者養成講座、日本語支援ボランティア養成講座）
・京都にほんご教室マップ（WEB版含む）
・日本語教室テキスト翻訳版（ベトナム語、タイ語、インドネシア語）